

ニューストップ > エンタープライズ > セキュリティ

日本語で"アンダーグラウンド"な情報のやり取り - 闇サイトの実態調査

[2015/10/14]

[PR]

トレンドマイクロは10月13日、日本に関連したアンダーグラウンドサイトの実態調査レポートをセキュリティブログで公開した。

今回のレポートでは、Torネットワーク上で11ドメイン、2,224サイトを調査。明らかになった主なサイトや情報は以下の通り。

日本語で情報がやりとりされているサイト

「Onionちゃんねる」:「Tor」ネットワーク内に設置された最大のアンダーグラウンド掲示板。「Tor 2ちゃんねる」の通称でも知られている。密売・密輸のサービスや薬物取引等、法律で禁止された行為(薬物のやり取り、マネーミュールなど)に関するトピックが中心。

「恒心教サイバー部」:「0chiaki」という名称で活動していたハッカーが運営していたとされる会員制サイト。調査では、窃取されたアカウント情報やハッキング関連情報などがメンバー間で共有されていることを確認した。

「JPON EXTREME」:電話帳検索サイトで1993年以降の延べ6億以上の電話番号の検索が可能であると説明している。情報の入手元は不明であるものの、電子通信会社から入手されたものとは考えにくい。

「マジカルオニオン」:児童ポルノに関するコンテンツ取引を行う専門サイト。ユーザーは、自身のアカウントを作成後「マジカルポイント」を購入する必要がある。

「トリップde私書箱」:匿名での情報交換を可能にするバーチャル私書箱サービスを提供するサイト。

英語などで日本に関する情報がやりとりされているサイト

「Orda Project」:個人情報や窃取済みアカウント情報等が提供されているサイト。このサイト内の各種フォーラムでは、クレジットカード情報、PayPalアカウント情報、Secure Shell(SSH)アカウント情報等が、さまざまな価格で提示されている。掲示板では、窃取したクレジットカードが有効かどうかを確認するための検証ツールも非合法で提供されている。

国名	販売価格	販売されているアカウント数
クレジットカード		
日本	14~78米ドル (平均: ~60米ドル)	207
米国	2~84米ドル (平均: ~7米ドル)	126,707
ブラジル	6~10米ドル (平均: ~8米ドル)	17,385
イギリス	8~61米ドル (平均: ~8米ドル)	28,336
カナダ	3~60米ドル (平均: ~16米ドル)	36,423
PayPal アカウント		
日本	2米ドル	7
米国	2米ドル	16,633
カナダ	2米ドル	37
ブラジル	2米ドル	83
イギリス	2米ドル	695
カナダ	2米ドル	274
SSHアカウント		
日本	1.40米ドル	1
米国	1.40米ドル	1,186
ブラジル	1.40米ドル	16
イギリス	1.40米ドル	25

各国のクレジットカード、PayPalアカウント、SSHアカウントの販売数と価格

「FAKE PASSPORT.ONION」:日本を含む12カ国の偽造パスポートを販売するとするサイト。

日本のパスポートは700米ドル(米国は1000米ドル、英国は900米ドル)。

この他、Torネットワーク上ではないが、You TubeやTwitter上で、日本語でDDoS攻撃ツールを売買しているアカウントも確認(1000円~3000円分のプレイステーションストアカードを要求)。

調査の結果、国内のアンダーグラウンドサイトの多くは、個人のハッカーによる情報交換が主であり、マーケットとしての機能はほとんど確認できなかった。アンダーグラウンドサイトの特徴として「匿名性」「排他性」があるという。

ただ、日本国内のユーザーから窃取/詐取された情報が、実際に世界のアンダーグラウンドマーケットで売買されている実態もあった。日本のクレジットカード情報の平均売価60ドルは、米国などの他国と比べても最高値となっていたという。

日本のサイバー犯罪者は、不正プログラム作成に必要なノウハウは不十分であるようだが、他の地域のアンダーグラウンドから不正プログラム作成ツールを購入するなど、こうした不正活動に大きな関心があることが伺え、日本人によるサイバー犯罪が今後活発化することが予想されるという。

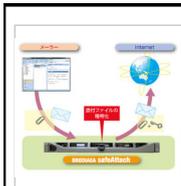
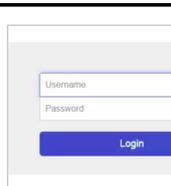
ツイート

シェア 31

ブックマーク 3

G+1 0

15

				
<p>気をつけても起こるメールでの"うっかりミス" - ZIP暗号化方式の誤送信対策 [PR]</p>	<p>会員管理から入金確認までオートメーション化し、業務効率を約2/3に圧縮! [PR]</p>	<p>サーバ1台でPCRFとOCSを備えMVNOに新規参入する事業者のコスト負担を軽減 [PR]</p>	<p>マイナンバーで懸念される情報漏洩対策 - エンドポイントでデータを保護 [PR]</p>	<p>ユーザ情報とセッション情報を一元管理、認証に関する多様な課題に対応 [PR]</p>